

北海道体操連盟 大会運営感染拡大防止ガイドライン

本ガイドラインは日本体操協会より配信された「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」「体操イベントに実施に向けた感染拡大防止予防ガイドライン」に基づき、北海道の体操活動のガイドラインを示すものとします。

本ガイドラインを参考に、各地区体操連盟・協会及び所属団体が、それぞれの大会運営で適切な感染拡大防止対策を講じた上で実施することとし、参加者が安心安全に参加できるようにするため、運営に当たり下記の事項に留意する。

なお、現段階で得られている知見に基づき作成しているが、逐次見直しがあることに、ご留意ください。

1. 大会主催者の取組

- (1) クラスター発生等の事態に備えて、大会参加者の情報を開会前に把握する。
 - ・大会参加者名簿（選手、監督以外の同行者を含む）
 - ・所属の緊急連絡先
 - ・期間中の宿泊施設（できれば部屋割表）、旅程表
- (2) 会場に新型コロナウイルス感染症防止の責任者を配置すること。
- (3) 会場内での動線を定め、接触する機会をできるだけ減らすこと。
- (4) 会場内で高頻度に複数の人が触れる場所に関し、頻回に清掃、消毒すること。
- (5) 大会期間中に感染症対策を参加者に対し徹底する方法を工夫すること。

2. 参加者への対応

- (1) 受付時に非接触型体温計で検温、手指消毒をすること。
- (2) 受付時毎日、北海道体操連盟の『健康チェックリスト』を提出して入場すること。
 - ※提出された内容に「自主的に参加を見合わせる場合」が確認された場合は、入場できません。
- (3) マスクを着用すること。（不織布マスク奨励）
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をすること。
- (5) 選手は演技や練習中、マスクを着けずに行い、それ以外（更衣室等）はマスクを着用すること。
- (6) 大きな声で会話、応援をしないこと。
- (7) 炭酸マグネシウムは個人が持ち歩き、放置したり他の参加者が使用することが無いようにする。チームで共有する場合は事前消毒を原則とする。
- (8) 新体操で競技前に選手同士での円陣を組んでの声かけ等を行わない。
- (9) 新体操団体競技練習時に、大きな声を出しての「声がけ」や「カウントとり」は極力避ける。
- (10) 食事に当たり飛沫を飛ばさないために、向かい合わせにならない、また会話を控えること。
- (11) ごみ等はすべてお持ち帰り。

- (12) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の厳守をすること。
- (13) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に濃厚接触者の有無について報告すること。

3. 会場内

- (1) 会議の会場等は感染拡大防止に配慮し、人と人との距離の確保
- (2) 開閉会式等は可能な限り簡素化
- (3) 「北海道スタイル」安心宣言の掲示
- (4) 観覧席の制限
- (5) 定期的な換気対策
- (6) 咳エチケットの励行
- (7) 洗面所や手洗い場所に消毒剤設置、エアータオルの停止
- (8) 更衣室、休憩室、待機場所等の入場制限と利用時間の制限
- (9) ゴミの持ち帰り遵守
- (10) 熱中症対策

4. 危機管理体制

大会期間中に、感染者やその疑いがある者が出るなどの緊急事態が生じた場合は、速やかに主催連盟・主管連盟に連絡をし、その後対応策の指示に従うこと。

5. その他

- ・本ガイドラインの適用期間は更新版が適用される前とする。

6. 関連情報

(ア) 日本体操協会「体操イベント実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」

https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/08/JGA_Event_Guideline200916.pdf

(イ) 日本体操協会「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」

https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/JGA_GYM_COVID19_Guideline1.pdf

(ウ) 北海道 [北海道のホームページ \(hokkaido.lg.jp\)](http://hokkaido.lg.jp)

(エ) 北海道体操連盟 [do-taikai-guideline.pdf \(sakura.ne.jp\)](http://do-taikai-guideline.pdf)

(オ) 北海道体操連盟健康チェックリスト www.do-taisou.sakura.ne.jp/topix/kenkou-check.html